

地域創生戦略関係事業実施状況1（地方創生推進交付金対象事業）

今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業

事業目的

精華町の地元産品・観光のブランド力強化に向け、「いちごのまち」「スイーツタウン」を推進するため、各種事業を展開することで、精華町の観光コンテンツの認知度向上による観光集客を図るとともに、町内観光産業の一層の発展と活性化のため、体験型観光農園の継続支援など、観光農業の推進に取り組む。

事業結果概要

○ 農業や地域産品を活かした産業振興・観光振興施策の実践

いちごを軸とする産業振興・観光振興を図るため、子育て世代向けフリーマガジン「クルール」にて観光農園の開園イベント情報の掲載や、四条烏丸のスイーツ店「ARROW TREE」とのコラボ企画として、いちごを用いたオリジナルメニュー「いちごパフェ」と「いちごミルク」販売を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大によりイベントが多数中止となったが、11月22日にJAと共催にて「せいか秋の物産祭り」を開催し、「京都精華Cafe」としてのブース出店を行ったほか、京都市の商業施設「COCON烏丸」内にも出店し、㈱エフエム京都のラジオ番組によるイベント紹介が行われるなど、スイーツのまちとしてのPRを域的に実施した。

町の観光情報を一元的に発信する観光ポータルサイトにおいては、新しい生活様式を踏まえた町の観光スポットを疑似体験できるVRコンテンツを追加した。

観光農園における更なる魅力増進や付加価値の向上に向けて、昨年度に引き続き観光農園への補助を行ったほか、お茶の京都DMOと共に京都府南部の広域観光振興を図った。

事業成果

○ 「いちごのまち」としての取り組みを推進するため、各観光農園で「いちご狩り&アイシングクッキー体験」イベントの実施のほか、京都市内のスイーツ店と連携し、精華町のいちごを用いた商品を販売することで、精華町のいちごのPRを行うことができた。併せて、今年度も引き続き各観光農園の活動支援を行うことで観光・地元産品のブランド力強化を図ることができた。

○ 「スイーツタウン」の取り組みについては、けいはんなプラザ日時計広場の「せいか秋の物産祭り」に町内和洋菓子店のスイーツを出展販売する「京都精華Cafe」を出店し、3月には京都市の商業施設「COCON烏丸」にも出店を行ったことで、広域的なPRを実施することができた。

○ 観光ポータルサイトに精華町の観光スポットを疑似体験できる観光VRコンテンツは、京都新聞にも記事として取り上げられ、新しい生活様式における観光振興の展開を図ることができた。

○ お茶の京都DMOにより、お茶の京都エリアへの寺社仏閣ツアーが企画・催行される等、京都府南部の広域観光振興についても連携して実施することができた。

事業決算額

28,827,353円（交付金充当14,413,676円）

主な経費

農業や地域産品および学研都市ブランドを活かしたシティプロモーションによる産業振興・観光振興業務：5,989,000円（企画調整課に執行委任分）・観光農業推進事業補助金：7,016,000円・観光魅力発信業務：6,316,288円・お茶の京都DMO負担金：2,822,000円 サイクルスポーツを活用した広域観光事業：4,455,000円など

今後の課題・展開等

観光消費額の低さが顕著であり、町内観光施設の周遊性やリピート性の向上のほか、いちごを中心とした新たな特産品開発を行うなどの施策展開により観光消費額の向上を目指す。また、観光農園の経営母体の経営ノウハウ、経営規模拡大及び就業者の高齢化に起因する今後の運営については、引き続き包括的な支援が必要と見込まれる。今後も「いちご狩り」を中心とし、精華町観光農業のブランド力向上や認知度の向上を図り、継続的で安定的な精華町観光農業の展開を図る。



地域創生戦略関係事業実施状況2（地方創生推進交付金対象事業）

京都アカデミック産業創造事業

事業目的

国の地方創生推進交付金の対象事業として、交流人口を継続して増加させ経済活動に反映するため、引き続きサブカルチャー振興を深化させるとともに、情報発信力の強化、遠方からのリピーターの拡大、「クールジャパン」を意識したインバウンド対策、地域観光資源の掘り起こしを戦略的に進めることで、サブカルチャーによる誘客拡大と地域資源の付加価値向上による地域の消費活動の促進を図る。

事業結果概要

大学機関や企業との連携による、「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの推進や、サブカルチャーに関するクリエイター支援の取り組み、また、地域の魅力発信や交流人口の拡大や京町セイカを活用した「精華町地域創生戦略」に基づくシティプロモーションの推進を図った。

- 大学や企業等との連携による「SEIKAクリエイターズインキュベーション推進拠点コンソーシアム」の運営
- 町広報キャラクター「京町セイカ」を通じた、オンラインを含むサブカルチャーイベントへの出展、SNSの活用等によるシティプロモーションや特産品のPR、「学研都市精華町」のPR
- 京都銀行との連携による、学研都市ブランドを活かした観光資源の利活用や新たな特産品の開発、学研都市への交通アクセス確保に向けた京阪奈新線新祝園ルート延伸事業化調査等の産業振興・観光振興業務
- 「科学のまち」の魅力発信(科学体験プログラムの実施)
- 近隣観光促進に向けたPR映像の作成
- けいはんな学研都市活性化促進協議会を通じた学研都市の文化振興

事業成果

- 産官学が連携するコンソーシアムにより、「科学のまちの子どもたち」プロジェクト及びサブカルチャー振興を推進できた。
- オンラインでのサブカルチャーイベントに出展したことで、コロナ禍においても、全国に向けて学研都市精華町や特産品のPRを推進できた。
- けいはんな学研都市活性化促進協議会による各種事業により、けいはんなプラザを核とした文化・芸術活動の振興が図れた。

事業決算額

32,022,818円（交付金充当16,011,409円）

主な経費

- ・学研都市ブランドを活用した産業振興・観光振興業務：5,000,000円、オンラインを活用したシティ・プロモーションイベント出展事業：5,185,400円、京町セイカバーチャルユーチューバー制作業務：3,630,000円、観光促進に向けたPR素材制作業務：2,750,000円、スタンプラリーアプリ改修業務：1,492,920円、動画制作体験ワークショップ運営委託：440,000円、けいはんな学研都市活性化促進協議会分担金：6,500,000円 など

今後の課題・展開等

- 「SEIKAクリエイターズインキュベーションセンター」について、クリエイター育成や「科学のまちの子どもたち」プロジェクト推進のための拠点機能の充実に向け、コンソーシアムの構成団体や包括連携協定を結ぶ大学機関等との連携をさらに密にし、持続的に取り組み可能な実施体制の構築を目指す。
- 既存事業の見直しや新規事業を検討し、引き続き学研都市精華町の活性化に資する事業の展開を図る。



7月限定
イベント



お知らせします!

精華町では、テイクアウトを行う飲食店を
応援するスタンプラリーを実施します!

#精華エール飯スタンプラリー

地域創生戦略関係事業実施状況3（地方創生推進交付金対象事業）

インクルーシブソサエティ（共生で賑わう社会）推進事業

事業目的

精華町地域創生戦略に基づくシティプロモーションにおける基本目標「健康・スポーツによる地域活性化」の一環として、京都府等との連携のもと、共生社会の実現に向けた環境整備のための取り組みを進める。

事業結果概要

精華町地域創生戦略に基づくシティプロモーションにおける基本目標「健康・スポーツによる地域活性化」の一環として、京都府等との連携のもと、共生社会の実現に向けた環境整備のための取り組みを進めた。

○「パラスポーツの普及・啓発」 過去3年間に渡り、障害者スポーツ「ボッチャ」の普及啓発に取り組んできたことから、一般の方から障害のある方、高齢の方まですべての世代でボッチャを楽しむことができるためのツールとして、ボッチャのオリジナルガイドブックとDVD（解説版）を作成した。ガイドブックとDVDの作成にあたっては、京都府立南山城支援学校の協力のもと、ボッチャの体験会を実施し、動画や写真撮影等を行った。

○「福祉と農業の連携活動の普及・啓発」 町内の障害関連事業所で唯一、農業関連の事業を実施していた「社会福祉法人プラッツ」へ業務委託し、約795㎡の農地を借り、農産物の栽培や他の福祉施設と連携し、収穫した野菜の販売を行った。また、農産物を活用した商品開発や販路拡大を行うため、SNSを活用した農福連携の専用サイトを立ち上げた。

業務従事利用者数：10名 農業指導職員：2名 収穫状況：24種目

事業成果

○今回、初心者でも気軽にボッチャを始めることができるツールとして、オリジナルガイドブックとDVDを作成したことで、すべての世代を対象に、今後も継続的にボッチャの普及啓発を行える仕組みが構築できた。

○SNSを活用した農福連携の専用サイトを立ち上げたことで、農福連携の取り組みに関する情報発信のツールを作ることができた。

事業決算額

2,459,600円（交付金充当：1,229,800円）

主な経費

- ・精華町障害者スポーツ振興事業委託：1,463,000円
- ・精華町農福連携推進モデル事業委託：996,600円

今後の課題・展開等

○障害者スポーツを手軽に楽しめるための場所や物品等の確保、また、障害者スポーツの普及啓発を担う人材の育成に向けた取り組みを進める必要がある。

○地域住民とつながり、地域と共生することで新たな障害のある人の雇用の場や居場所づくりに取り組む必要がある。また、町内企業等と連携し、農福連携で生産された商品の販路拡大に取り組む必要がある。



地域創生戦略関係事業実施状況4（地方創生推進交付金対象事業）

京都やましろ地域と東京しぶや連携交流事業

事業目的

山城地域12市町村と東京渋谷区が連携し、それぞれの地域の「人」や「企業」が、一過性では無い交流を持続的に展開する環境を創り出し、両地域の関係人口の創出・拡大を図る。

事業結果概要

○東京の資源を活かした京都の茶文化進化事業

「デジタルお茶会」の映像配信、SNSアンケートキャンペーン、特産品づくりに関する山城地域及び渋谷区の各事業者へのヒアリング調査

○京都の資源を活用した渋谷カルチャー進化事業

渋谷区住民・就業者ニーズ調査

○お茶の京都・東京しぶや戦略的交流事業

交流戦略委員会の実施（3回）、啓発冊子の作成、専用ホームページの構築

事業成果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初計画していた渋谷区でのイベント開催中止をはじめ、各事業の立ち上げが大幅に遅れたが、事業計画検討にかかる「交流戦略委員会」をオンラインにて開催することでプロジェクトを推進することができた。

プロジェクト専用ホームページを開設し、当該プロジェクトを広く周知することとし、また渋谷区会場にて開催予定していた「大茶会」を、ホームページを活用し、「デジタルお茶会」として動画配信を行ったほか、動画を視聴された方を対象として、山城産品が当たるアンケートキャンペーンを実施するなど、コロナ禍においても可能な方法により各種事業を進めることができた。

事業決算額

433,000円（交付金充当216,000円）

主な経費

関係人口創出プロジェクトに係る分担金：433,000円

今後の課題・展開等

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による事業の再検討を行うなど、新たな事業計画により円滑な事業実施を行う必要がある。新しい生活様式を踏まえたオンラインでのイベント実施や、リモートでの事業実施による展開を図り、両地域の交流を促進して関係人口の創出拡大を目指す。

京都やましろ地域

KYOTO YAMASHIRO × TOKYO SHIBUYA

東京しぶや

